

令和5年11月20日

令和5年

第11回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和5年11月20日（月曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（11名）

教育総務部長		今 井 健太郎
教育総務課長		鈴 木 孝 司
教育施設担当課長		田 中 佑 典
副参事（教育地域力担当）		長 岡 誠
副参事（教育施設調整担当）		小 池 武 道
学務課長		大 竹 豊 和
指導課長		細 田 真 司
指導企画担当課長		木 下 健太郎
学校支援担当課長		鈴 木 啓 介
教育センター所長		早 田 由香吏
大田図書館長		後 藤 清

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

~~~~~

(午後2時00分開会)

○教育長

ただいまから、令和5年第11回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は、傍聴希望者がおります。  
委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をお願いいたします。

それでは、これより質疑に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に深澤委員を指名いたします。よろしくをお願いいたします。  
続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

私から2点、学校の周年行事と各学校における研究発表会について、報告させていただきます。

まず、周年行事ですが、10月28日、高畑小学校の70周年記念式典に参加させていただきました。高畑小学校は、昭和28年に開校ということでございます。戦後間もない時期ですけれども、校舎や校庭が整備されていない頃で、多摩川にマットを持って行って体育の授業をするなど、開校設備の点で苦労が多かったというようなことがありました。それ以来、70年間にわたって教育活動を続けてこられました。

式典で印象に残ったのは、やはり子どもたちの歌声が、たいへんすばらしかったと思っております。学校の行事の中では、この合唱ですね。合奏も含めて音楽があるのですけれども、式典などの行事を盛り上げる一つの大きな要素として、この歌声があるのではないかと思います。

コロナ禍で、なかなか歌を歌うということができなかった日々が続いたのですけれども、マスクを取って大きな声で美しいハーモニーをしていただく。そういう日常が戻ってきた

のかなと思います。学校における歌声のすばらしさ、歌う子どもたちのすばらしさを感じたところです。

続いて、11月11日は、新宿小学校の70周年記念式典に行っていました。こちらの学校も、蒲田のまちが戦禍で焼かれてしまって、何もない所で校舎を建てていった様子が、エピソードの中で語られていました。子どもたちが、校庭に木々を一本一本植えていったというようなエピソードもございました。

現在、新宿小学校は第1校庭が芝生でできています。地域の方々のご協力もあって青々とした芝生が生えていて、非常に環境的にすばらしいと思いました。その芝生の上で例の風船を上げるといったように、行事が行われております。

そういう校庭ですので、休み時間は十分に取って、そこで裸足で遊ぶことが本校の特色になっているかと思います。芝生を管理するのも、やはり地域の方々のご協力がないとできませんので、そのような伝統が学校を支えていただいている地域の様子が、芝生とともに周年行事の中に見られました。

それから、11月18日、洗足池小学校の70周年の式典・祝賀会に行っていました。音楽の先生が、前日にインフルエンザで熱を出してしまって、急遽、代わりの先生が指揮をしていたのですが、はじめからかなりテンポの速い難しい曲で、頑張っただども子どもたちが演奏していました。

その演奏もすばらしかったのですが、式典の中で、子どもから地域の方々に感謝状を渡すという、新たな試みも見られたところです。洗足池小学校の自治という、子どもたちの自主的な生活というのですかね、それを大事にしている表れかなと思いました。

洗足池小学校は、洗足池があって、風光明媚というのですかね。自然を感じられる所なのですが、「こきちちゃん」という洗足池のカワセミを基にした70周年のマスコットがありました。「こきち」という名前の由来は、子どもたちが、70周年だから古希だと。それと、勝小吉という勝海舟の父親の名前を取って、洗足池らしい名前といいますか、子どもたちの発想の豊かさを感じたところです。

3校とも70周年ということだったので、それぞれの地域で、戦後からの復興の歴史が70年あるのだと思いました。

また、六郷、蒲田、洗足、それぞれの地域の特色というのですかね。それが色濃く出て、小学校のその地域に根付いた教育の様子が伺えたところです。

続いて、研究発表会は、11月10日に田園調布小学校の体育の発表に行っていました。研究主題は、「自己の学習課題を見だし、粘り強く解決しようとする児童の育成～『できる・分かる』の積み重ねを通して～」ということで、研究をされていた成果を見てまいりました。

私は午後から行ったので、校庭の体育と室内のソフトバレーを見せていただきました。子どもたちが持っている運動能力を十分に生かして、決してすごく上手というわけではないのですが、一生懸命やっている姿が伺えました。

生涯体育ということ言うと、やっぱり楽しく体を動かす運動に取り組むということが、これからますます重要になってくるかと思いますが、運動好きの子どもを育てる地道な、着実な成果を見ることができました。ぜひ区内の小・中学校に広げていきたいと思ったところです。

最後に、11月14日は、大森第三小学校の健康教育についての2年間の発表を見てまいりました。研究主題は、「未来をつくる健康教育～生涯にわたって健康を保持、増進する資質・能力の育成～」ということで、学年で骨であるとか、歯、睡眠、脳などを取り上げて、健康課題に学年ごとに取り組んでいるところです。

大森第三小学校の前には、東邦大学がありまして、医学部、看護学部の方々と、区でも「人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」ということで連携をしておりますが、その連携もあり、東邦大学と大森第三小学校の連携の中で健康教育が、地域の特色ある活動として行われていました。

講演としては、二人の教授のお話があったのですが、大田区全体の健康の状況なども教員の方に話していただいて、その地域の健康状況を踏まえながら、健康教育を進めていくことの大切さ、それから、小さいときから健康に興味を持っていくことの大切さ、そういうことを痛感したところです。

いずれにしても、その先生方が一生懸命取り組んでいて、それがこどもの姿に出てくることがあるのかなと思いました。様々な教育活動があるのですが、学校全体で取り組むということが、一つの学級でとか、学年でというよりもやはり大きな力になっていくのかなと思います。

そういう意味では、この学校の解決のための研究活動については、ぜひ力を入れて各校で取り組んでいただきたいと思いますところでは。

私の報告は以上でございます。何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。

### ○三留委員

10月31日に、東調布第三小学校の指導訪問に同行しましたので、報告させていただきます。

3校時から5校時までの3時間、全てのクラス、専科の授業を見ました。校舎改修中ということで、こどもたちは大変ストレスがたまりやすい状況と思いましたが、全体的な印象として、落ち着いて授業に取り組んでいました。

先ほど、教育長から、コロナ後というお話がありましたが、やはりマスクをしている子どもも少なくなってきた、2年生では、音楽の時間に鍵盤ハーモニカを、こどもたちが楽しそうに吹いていました。学校は、ポストコロナの時期を迎えているということを感じたところです。

特にすばらしかったのが、こどもたちがタブレット型パソコンに習熟していて、多様な学習活動に生かしていたことです。

例えば、画像を取り入れ、文章を挿入してカードを作ったり、画面上で図形を操作したり、Yチャートというのがあるのですが、これを活用して考えを深めたりとか、クラスごとに様々な活用がなされていました。

驚いたのは、1年生は、通常手書き入力で文字を入力するのですが、1年生の中に、ローマ字入力で文字を入力しているこどもがいたことです。日頃からパソコンを道具として積極的に活用していくことで、こどもの可能性を広げることができると感じました。

東調布第三小学校については、全体的に良い授業が行われていたと思いましたが、これについては、パソコンを上手に取り入れているということもあるのですが、日頃の

学級経営と教材研究がしっかりなされているからだと感じました。

このことは、学校教育において不易なことで、区内のどの学校においても、先生方がこどもに寄り添った学級経営と日々の教材研究に取り組むことができるように願っているところです。

#### ○教育長

先日、小学校の調布地区のPTAの会長との懇談会がありまして、そこで、各学校の報告がありました。東調布第三小学校は、今、三留委員がおっしゃったように改築中ですので、ボルダリングの壁を作って、それで運動の機会をとという実践の報告をされていました。

校舎改築は、校庭が狭くなるとかで、運動についてなかなか機会が減少してしまうのですけれども、ボルダリングとか、そういうこどもたちが、休み時間に使えるような施設を学校で工夫して、設置してやっていくというのは、非常によい取組だなと思いました。

#### ○弘瀬委員

11月14日、大森第三小学校の研究発表会に出席いたしました。先ほど、教育長がお話しされましたように、1年生から6年生まで、それぞれの学級活動が行われていました。18学級あるため、各教室を1、2分で回ったので十分に見られませんでした。こどもたちが元気に課題に取り組んでいました。また、当日は見学者が非常に多かったので、こどもたちも通常よりは興奮していたように見えました。

見学後は、学校の先生から研究発表のまとめ、その後、指導主事の講評がありました。その後、東邦医大の二人の教授による講演会が行われました。大田区全体の検診の受診率がまだまだ低いこと、健康のために運動を行う人が少ないなどの話がありました。現在、大田区が行っている検診の結果から、こどもの頃から自分の健康について勉強し、自分の体について十分知った上で、生活習慣病を予防するために何が必要であるかを考えることが重要であるとの話がありました。

2年間の健康教育が根付いて、ひいては、大田区全体のこどもたちの意識が変わっていくことを希望いたします。

#### ○教育長

ありがとうございました。

#### ○高橋委員

4点報告します。

はじめに、10月27日の馬込東中学校の指導訪問です。4校時、5校時の授業参観をしました。重点項目は、ICTの効果的な活用についてでしたが、4校時は、タブレットを使った授業で、生徒たちは考えをまとめ、グループで共有していました。

授業は、興味・関心を持てる授業になっていたと感じました。分科会での指導も内容が濃いもので、全体会もとても充実していました。

次に、10月28日、教育長が報告された高畑小学校の開校70周年記念式典です。児童の国歌斉唱から祝賀セレモニーの合唱「いのちの歌」、閉会式前の「ふるさと」、全て立派な

歌声でした。

お祝いの演奏は、六郷ウィンドアンサンブルという、六郷中学校吹奏楽部の卒業生による吹奏楽団で、高畑小学校の卒業生が多いとのことでしたが、とても楽しめる選曲ですばらしかったです。

次に、11月11日、新宿小学校の開校70周年記念式典です。5、6年生の児童のお祝いの言葉、演奏、歌、とても力強く立派でした。寄贈品がいつもあるのですが、こちらの学校では緑のテントで、天然芝の校庭の鮮やかな緑とマッチした、とてもすてきなテントでした。

次に、11月18日、洗足池小学校の開校70周年記念式典に参りました。教育長もおっしゃったように、児童からの感謝状贈呈があり、初めてのことでしたが、青少年対策地区委員会会長、学校支援地域本部コーディネーター、地域教育連絡協議会委員にそれぞれ花束と共に感謝状が贈られました。それぞれの活動をきちんと評価し、伝える内容になっていて、こどもたちの気持ちがとてもうれしく感じるものでした。

#### ○教育長

ほかにありますか。

#### ○深澤委員

先ほど、三留委員から、東調布第三小学校の指導訪問の際に、パソコンをうまく使っているこどもがいるというようなお話がありました。私が最近気になっているのは、報道などで見るSNSを使った誹謗中傷です。

つい先日、ジャニーズで加害を受けた当事者の会の方が、SNSの誹謗中傷を苦にして自殺されたとか、アイススケートの羽生結弦さんが、誹謗中傷やストーカー行為が原因で、結婚して3か月で離婚されたというような、本当に驚くようなニュースを目の当たりにしまして、やはり情報モラル教育の大切さというものを非常に強く感じております。

ただ、難しいと思うのは、今のこどもたちというのは、生まれたときからパソコンやスマホがある世代で、私たち大人とは、感覚が全く違うことです。私からするとパソコンとか、ICTというのは、通信や検索の手段に過ぎなのですが、今のこどもたちにとっては、SNSが自己表現の場であって、フォロワーが付くことで自己評価につながるものですから、そうすると私にはその感覚が分からないので、これからの情報モラル教育は若い人たちの話を聞きながら進めていく必要があるのかなと思っております。

そういう現代的な難しい課題があるとしても、やはり自らの表現行為で人を傷付けてはいけないというのは、普遍的な命題でありますから、そういうところをきちんと教育をして、こどもたちを社会に送り出していくというのが、私たちの責務であると考えております。

#### ○北内委員

私からはまず、広島で開催された文部科学省主催の市町村教育委員会研究協議会について報告します。これは、教育長・教育委員の全国大会のようなものです。

冒頭、文部科学省から「初等・中等教育施策の動向について」という行政説明がありま

した。次に、各研究テーマに分かれてグループ討議をしました。私は、「学校における働き方改革について」のグループに入りました。グループのメンバーは、滋賀県草津市の教育委員、大津市の教育長と私の3名でした。お二人とも元校長先生でした。

まず、各自治体の取組について報告しました。その中で特徴的だったのは、草津市は、市内に総合大学があるので、登録制のボランティアで学生を活用し、お互いwin-winの関係をつくり、学校現場に学生さんが来て手伝ってもらおうということを実践していました。大津市は、いじめ自殺事件から更にスクールロイヤーを増やしていくという話をされていました。

お二人の先生からは、学校の先生の働き方改革の中で一番時間を取られているのが、保護者からの過剰な要求であると仰っていました。

私からは、本区が進める「学校における働き方改革の推進について」を報告しました。在校時間の客観的な把握と働き方改革への意識付け、教員業務の明確化と最適化、学校を支える体制づくり、教員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりについてです。

今回、対面開催で、しかも、メンバーが3名だったので、かなり深く色々なことについて議論することができました。

最後に、元校長先生お二人が、働き方改革について共に仰っていたのは、学校の先生という仕事は、お金だけじゃない。こどもの成長を見たときが、教師冥利に尽きる。働き方改革については、そういうことをもっと知ってほしいと仰っていました。

次に、田園調布中学校の指導訪問に同行させていただきました。指導訪問では、現場の先生は、教育委員会の指導課に客観的に授業を見てもらいます。また、指導課は現場の状況把握、授業の共有などができるので、とても大切な機会だと思っています。田園調布中学校の先生たちは、きめ細かく授業をされていたように思いました。

また、日頃の先生の指導のおかげで、生徒の学ぶ姿勢も主体的で対話的な深い学びをしていました。

当日は、中間テスト前日でお忙しい時期だったと思いますが、対応してくださった田園調布中学校の校長先生をはじめ、教職員の皆様、ありがとうございました。

また、指導課長をはじめ、指導課の先生方も日頃お忙しい中対応してくださり、感謝申し上げます。引き続き現場の先生方のサポートをよろしくお願いいたします。

周年行事は、私も高畑小学校と新宿小学校および洗足池小学校に出席させていただきました。

高畑小学校では、教育長と高橋委員が仰っていたように、合唱・合奏がとても素晴らしく感動しました。

新宿小学校では、祝賀会でダウン症のあるメンバーで結成されたエンタメ・ダンスサークル「ラブジャンクス」とPTA会長の仲間たち「B-BOYS」が勢揃いし、ブレイクダンスを披露してくれました。ダウン症のある子どもたちは、一人ひとりすごく輝いていました。

新宿小学校PTA会長はじめ、保護者の皆さまは、常に子どもたちを楽しませようと尽力してくださり、また、先生たちもたいへん協力的で、感謝しています。

洗足池小学校では、式典でオープニング合奏「Happiness」があり、とても素晴らしい歌声でした。学校長式辞では、故事「先ず隗より始めよ」のお話があり、洗足池小学校の

「自治の校風」について話されました。式典では、児童からお世話になっている地域の方々に感謝状を贈呈しました。児童も地域の一員であるということを実感できたと思います。

記念式典・祝賀会の開催にあたっては、ご尽力くださった校長先生・教職員、実行委員長・委員、P T A会長・役員・保護者、地域、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

最後に、昨日、志茂田小学校・中学校、仲六郷小学校の合同花火大会に出席させていただきました。これは、3校のおやじの会が主催してくださり、志茂田小学校の校庭で花火を上げ、中学校の校庭は、この3校の児童・生徒・保護者でほぼいっぱい埋め尽くされました。

こういった行事は、なかなか学校・教職員では、実施は難しいと思います。これは、おやじの会やP T Aができる行事だと思います。ご尽力くださった関係者の皆さま、ありがとうございました。

#### ○教育長

ありがとうございました。

ほかに、ご意見はございますか。

それでは、これをもちまして、令和5年度第11回教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。

(午後2時29分閉会)

令和5年 第11回 教育委員会 定例会 11月20日(月) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和5年11月20日

令和5年第11回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項